

# HPVワクチン東京訴訟 支援ネットワークニュース

No.2 2017年12月5日

HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-17-10 エキニア池袋6F

城北法律事務所内

Facebookページ：<https://www.facebook.com/hpv.yakugai.tsn/>

E-MAIL：[hpv\\_shien@yahoo.co.jp](mailto:hpv_shien@yahoo.co.jp)



HPVワクチン東京訴訟 第4回期日は、2017年11月22日、103号法廷でおこなわれました。

法廷での陳述と支援活動をお伝えします。

## 被害者の訴えを聞いて

11月22日 HPV ワクチンの東京裁判に行ってきました。まずは裁判所前でリレートークが行われました。多くの人に来ていて傍聴は抽選。私ははずれましたが券を回してもらって法廷に入れました。

まずは原告の陳述、北海道から来た金澤さんがずっと痙攣しお母さんに支えられながら、これまでの苦しい状況、被害が認められず厚労省の検討部会で「心身の反応」と言われているが、裁判で自分たちの「助けて」という声を届けたいとしっかり訴え、傍聴席からはすすり泣く声が聞こえました。原告側の弁護士からは、このワクチン定期接種化に至るまでの問題性の陳述がありました。

被告側 GSK と MSD の代理人弁護士からは、世界 130 カ国以上で HPV ワクチンが接種されている、世界では被害は全く起きていない、因果関係は認められない、WHO も勧めている、接種勧奨が止まっていることで対象年齢の女性たちが子宮頸がんになる脅威にさらされているなどと陳述があり、被害者を前にこんなことを言える弁護士の神経を疑いました。

(杉並区議会議員 そね文子、<http://sone.seikatsusha.me/>)



## 私たちをみてください いないものとしなくてください

そねさんの傍聴記に登場する金澤さんの意見陳述は、おそらく裁判官の心にも響きました。紹介します

私は、原告番号7番金澤佑華、現在21歳です。北海道恵庭市から来ました。優しい看護師の祖母の姿を見て、看護師になりたいと願っていました。

中学校3年生の時、地元の病院でサーバリックスを3回接種しました。平成23年10月の2回目接種の数日後、激しい今まで感じたことのない頭痛、頭に霧がかかったようなモヤモヤ感、自分が起きているのか寝ているのかわからない頭の重さがあり、学校を休み病院に行きました。

しかしワクチンの副作用だとは思わず、中学校3年生の平成24年3月に3回目も接種しました。



護士さんの姿を見て、たくさんの温かい力  
裁判という公平な場で、私達の思いを訴え

2017年3月の薬害オンブズパースン会議タイアップ札幌集会で話す金澤さん親子

新たな症状が出たのは、高校1年生の終わりごろでした。授業中机の位置を動かす時、立ちあがったら頭がグルッと1周したようなめまいがおき、立ってられないほどでした。

症状は悪化の一途をたどり、**右手だけで起きていた痙攣が全身になり、過呼吸、不眠、食欲低下、上手に話せない、字が書けないなどの症状が出ました。**それでも、高校は辞めたくなかったので松葉杖をつけて学校に通いました。

そんな生活を2・3カ月続けましたがもう自分の身体が壊れてしまいそうだったので、平成25年10月に、大好きだった学校を休学し、平成26年3月に退学しました。

私は、厚生労働省が公表している札幌の協力医療機関を受診しました。しかし、その病院の医師から、**母は「娘さんはYouTubeをみて、真似をしている」と**言われましたし、私は、診察の際に目を見て話してもらえず、検査も十分してもらえませんでした。

**私の目指していた「医療の世界」は人を助けるものではなかったのか、こんなに苦しくて助けを求めているのにと**思って悲しかったです。

平成25年12月、ようやく北海道立子ども総合内科・療育センターで詳しい診察と検査を受けることができ、子宮頸がんワクチンの副反応であると診断され、その後、PMDAの救済制度の申請をし、認められました。

## ● 第2回 支援ネット例会にご参加ください

2018年1月19日（金）18:30～20:30

城北法律事務所

東京都豊島区西池袋1-17-10 エキニア池袋6F

## ■ 次回裁判期日のお知らせ

2018年2月14日（水）15:00 東京地方裁判所103号法廷

傍聴をお願いします！

現在も、痙攣、意識消失、脱力、めまい、耳鳴り、頭痛、不随意運動、視覚障害、睡眠障害、動悸などの症状に悩まされています。朝起きてみないと自分が元気なのかどうか分らず、何の症状も出ないという日はありません。

私が裁判に参加しようと思ったのは、今の私たちの被害が認められず、厚生労働省の検討部会では「心身の反応」といわれ、再びワクチンの積極的勧奨が行われようとしていることを知って、**私たちの存在が否定されたように感じたから**です。

私は、今年、実名を公表することにしました。第一回の裁判に来たとき、たくさんの同じ被害者の方に来て、車椅子にのって自分の意思を伝えている姿を見て、私は今歩くことができるし、話すこともできているから私にも伝えられることがあるのではないかと思ったからです。

私たちはみんな早く元気になりたい、ワクチンを打つ前のからだに戻してほしい、勉強がしたい、社会に出たい、家族に安心してほしい、はやく前に進みたいと思っています。

**助けてほしいと声をあげている私たちをみてください。いないものとししないでください。**この裁判を通じて、私たちの被害が認められ、治療法が確立され、普通の生活が送れる身体に戻れるようにすることを求めます。



11月30日の第1回例会（日民協会議室）

### 支援ネットへ 入会をお願いします

#### ● 入会申込み WEB 入力フォーム

<https://goo.gl/forms/IJmdrsiNu4EkaELO2>

#### ● 会費送金先

年会費は1口1000円以上(任意)

- ・郵便振替 記号番号 00140-7-696944 HPV ワクチン東京訴訟支援ネットワーク
- ・ゆうちょ銀行 店番 018 口座番号 8055797 (普通預金)

